

# 地質ニュース

昭和 37 年 1 月

第 89 号

1 9 6 2

ローマで開かれた 地熱の国際会議に出席して.....	斉藤 正次	1
モリブデン.....	石原 舜三	6
東京湾の海底谷.....	中条 純輔	12
フランスの地質調査事業.....	山田 正春	14
滞英2年の生活 -6-	砂川 一郎	21
ソ連の海洋調査船 ピチャージ号を見て.....	佐藤 良昭	28
セブク島の鉄鉱床.....	菊池 徹	30
ハワイの印象 (2) ~ハワイ島とオアフ島~.....	徳永 重元	36
各部署を尋ねて (17) .....	技術部工作課	43

## 編集 地質調査所

横岳山頂にて

九州路①

表紙の写真

鹿児島湾に沈む吾平・阿多カルデラが かくも多量の噴出物を伴わなかったら またもし一面に広がるシラスを取除いたとしたら 鹿児島県の歴史も変わったものであっただろう 人々の生活に密接につながっているこのシラスは とくに鹿児島湾東部に厚く分布している 高嶺山地では谷などのオウ部にまず溶結凝灰岩が さらに その上に厚くシラスが堆積した その谷は回春されて鋭いV字谷をなし 稜線はシラスが丸味を帯びて 写真のごとき特有の地形がみられる 遠方に鹿屋飛行場および国見山脈がみえる (石)

発行 株式会社 実業公報社

オリンパス WDゾイコー35mm F3.5 f11 300分の1秒  
Y-2 ネオパンSS D-76 月光V-3 コレクター